

## 第2回 設計ワークショップ[まとめ] 2019 8/3 土

Think

マルチスペースの使い方を考えよう

### ●第2回ワークショップの概要

マルチスペース周辺が描かれた平面図をもとに、具体的に何をしたいか、どのような設備が必要か、周辺環境とともに考えました。

### ●ワークショップの流れ

1. あいさつ・前回のWSのおさらい
2. ゾーニングの考え方について
3. 事例紹介
4. グループワーク
5. 発表のじかん
6. さいごに



### グループA

- ・市民活動同士がゆるやかにつながるようなイメージ。
- ・市民活動が一望できるスペースがあるとよい。
- ・時間を気にせずいられる場所があるとよい。
- ・庁舎と福祉会館の接合となるスペースは、障がい者の方が作った物品販売の場として活用したい。
- ・子どもが騒いで怒られない工夫がほしい。
- ・会議後打合せができるスペースがほしい。
- ・小金井産の野菜を使ったものが食べられるカフェがあるとよい。
- ・雨水の貯留、浸透の仕組みを活かす。（親水+防災）
- ・WIFI・ホワイトボード・プロジェクターの設置。
- ・学生の学習スペースやゆっくり座れるソファ。
- ・吹き抜けを生かして冬は大きなクリスマスツリーを置いたり、夏は七夕の飾りも。自然観察イベントでの活用。



### グループB

- ・コンサートや映画会、シンポジウムなどで使えると良い。
- ・壁に大型スクリーンを設置して議会中継や市の情報発信をしてはどうか。
- ・さまざまな世代の接点となるようにイベントのチラシを設置したり、学生が作品などを発表できる場としたい。
- ・カフェ+福祉施設で作ったものを売るような売店。
- ・カフェは1階配置と2階配置と両方の意見があった。
- ・親水ひろばには建物から直接出入りしたい。また、足洗い場や、座りながら子どもを見守れるベンチが欲しい。
- ・市役所の待合部分はスペースがもったいないので閉庁後は勉強スペースにしたい。
- ・にぎやかなスペースと静かなスペースとゾーン分けがあると使いやすい。



### グループC

- ・1階はイベントなど自由に使えるスペースとして、2階を市の情報などの常設スペースとしてはどうか。
- ・プロを招いての音楽イベント、子どもたちの合唱などのイベントに使う。福祉会館まつり、子どもたちが気軽に遊べるスペース、小金井市のアピール活動、市関連の図書閲覧、ジブリ広場などとして利用する。
- ・これまでの福祉会館の活動を継続できるようにする。
- ・売店、食堂が欲しい。
- ・カフェではなくて、気軽に使える飲食スペースが良い。
- ・キッチンカーが来れる形にしてはどうか。
- ・1階はひろばと一体利用できる設え（テラスの設置、フルオープンできる開口）。
- ・イベントで使う備品を保管する倉庫をマルチスペース近くに欲しい。



### グループD

- ・多世代・多国籍交流ができる場所としたい。
- ・常に使う場所ではないところは机を置くなどし、自由に使えるようにしたい。
- ・音がある場所（にぎやか）と無い場所（静か）が自然にまじり合うようにしたい。
- ・ボルダリング等吹抜けを利用して運動ができるとよい。
- ・様々な場所にバリエーションが豊富な本があるとよい。
- ・小金井市は自習スペースが少ないので、若者が使える自習スペースがほしい。
- ・夜間利用ができるようにしたい。
- ・壁をスクリーンとして利用できるようにしたい。常に映像が流れているようにしたい。
- ・体験コーナー・サークル活動の発表・ダンス・演奏・阿波踊り大会などで利用できるようにしたい。マイクが使用できるような設えとしたい。



### グループE

- ・学生の卒業発表や、写真、書道、絵画等の作品の展示。
- ・音楽コンサートやダンス、様々な講演会の開催。
- ・小金井市の歴史や文化を発信しているディスプレイや、それらに関連したミニライブラリーコーナーの設置。
- ・Wi-FiやATM、電源設備、売店、食堂がほしい。
- ・学校帰りの小学生や小さな子どもが気軽に入れるスペース
- ・マルチスペースを通して、南側に抜けるようにしてほしい
- ・西側の入り口は庁舎利用者が一番利用するので、その近くにもミニマルチスペースのようなものとよい。
- ・執務室前の細長い待合は静かな空間で、マルチスペースは賑やかな空間にしたい。
- ・マルチスペースは多摩産材などを使って、自由度の高い空間（可動式の椅子やテーブルの設置）にしてほしい。

